

# 日本共産党 八幡市議団ニュース

2020年8月23日 No.708 発行：日本共産党八幡市議会議員団  
◇TEL075(983)2005 ◇メール jcp-ywta@am.wakwak.com

ホームページは  
「JCP八幡市議  
団」で検索また  
下のQRコード



連絡先

山本邦夫(982)8844 ★くらしの相談、お気軽に  
巖 博(982)9663 亀田優子(982)1277  
中村正公(983)8312 澤村純子(983)6275

## いのち大切にする平和な日本を 8.15 平和の誓い・黙とう

# 平和のつどい

## 八幡市平和委員会

### 八幡市議団も参加

終戦75年を迎えた8月15日、八幡平和委員会は平和のつどいを開催し、約40人が参加。日本共産党八幡市議団も参加しました。

平和のつどいは、第1部として日本平和委員会の千坂純事務局長が「平和で命を大切にする日本をめざして」と題して講演。

千坂氏は、安倍政権が憲法の平和原則を変えようとするもとの、史上最大の大軍拡が進められようとしていると告発。自衛隊の「敵基地攻撃能力」を高めるとして、F35ステルス戦闘機105機の爆買い、攻撃型空母2隻の保有、長距離巡航ミサイルの配備、高速滑空弾の研究開発が進められ、他国を攻撃する能力の整備が始まっていると指摘しました。

一方で、国連の核兵器禁止条約の批准国が44カ国になり、あと6カ国増えれば、90日後に条約が発効します。千坂氏は、非核、さらに軍事同盟から抜け出し、人の命と



市役所前での黙とう

安全、尊厳を大切にする非軍事の安全保障への転換を呼びかけました。

第2部では、市役所前の非核平和都市宣言の碑の前で平和の誓い・黙とうを捧げました。

### 「積極的平和主義」口実に大軍拡 安倍首相が戦没者追悼式で

安倍首相は15日、終戦75年の全国戦没者追悼式の式辞で、日本の戦争責任、加害責任には触れず、「積極的平和主義」を掲げました。内閣は、「敵基地攻撃能力」を強調し、F35ステルス戦闘機や攻撃型空母の保有をすすめ、攻撃型兵器の装備を進めています。

大軍拡を進めるのではなく、憲法9条の平和原則を堅持すべきです。

## 2020年豪雨災害募金 山城地区で約36万5000円 ご協力ありがとうございました

梅雨前線による記録的大雨で、九州はじめ各地で河川のはん濫、住宅浸水、道路の途絶、集落の孤立などの災害が起きました。

日本共産党は全国で災害募金に取り組みました。八幡市議団はじめ山城地区委員会で

も約36万5000円が寄せられました。ご協力ありがとうございました。

これらの募金は、日本共産党の政治活動のための資金と区別し、全額を被災者救援、被災自治体への義援金に充てます。